

うまがんべ 2015 11

- 渡部農園農事通信 - No.66

新米が美味しいです！今年は春の苗トラブルがありましたが天候に恵まれ、なんとか新米を食べることができました。たくさんの感謝とともに心ゆくまで堪能したいと思います。先日は滅多に食べない”とか米”の白米を食べました。粒がしっかりしていて甘みがあり、新米の香りであっという間に完食してしまいました。おかずがいらないですね。食後には『塩むすび』も食べましたが、これがまた絶品でした。あれなら5個は食べられます！残念ながら農薬と肥料を使用していない”とか米”は数量が少ないのですべての皆さまへお届けすることはできませんが、徐々に面積を増やしていきたいと思います。除草の助っ人機械も購入する予定ですので来年の6月は除草しに来てくださいね。『塩むすび』で歓迎いたします。11月2日には『雲と雪の恵む町 渡部農園BOOK 2015年秋号』が発刊しました。今回は”とか米”と”とか”特集。私”とか”がどんな思いで”とか米”を栽培し始めたかや今後の展望、そして”とか”がどんな人物なのかを丁寧にまとめていただきました。たいへんこっぴどかしいですが、一読いただければ幸いです。先日話をした中学時代の同級生が、「これまでの人生の中で何も残っていない。」と不安そうに言っていたことが心に残りました。ふと私もその時に不安がよぎりましたが、こうして渡部農園のお客様の人生の一端に多少なりとも彩りを添えているという思いが不安を消し去ってくれました。私の好きな曲の一つにMr.Childrenの『彩り』の歌詞の中で『僕のした単純作業がこの世界を回り回ってまだ出会ったこともない人の笑い声を作っていく』というフレーズがあり、まさしく今の私の心境とマッチしています。一度も出会ったこともない皆様とお電話したりメールしたりしながら、食卓の笑顔思い浮かべる。目の前には私たちが育てたお米がある。そう思っただけで私たちは笑顔になります。今気づきました。むしろ私たちの人生が皆さんから『彩り』をいただいているのですね。(とか)

今月の感銘を受けた言葉

『向こう岸に渡りたいというイメージがあるからこそ、舟をつくるための木を集められるわけでしょう。向こう岸の景色がたのしみにできると、地味な仕事のひとつひとつが、おもしろいんですね。』

「今日のダーリン」 糸井重里 著

養鱒公園

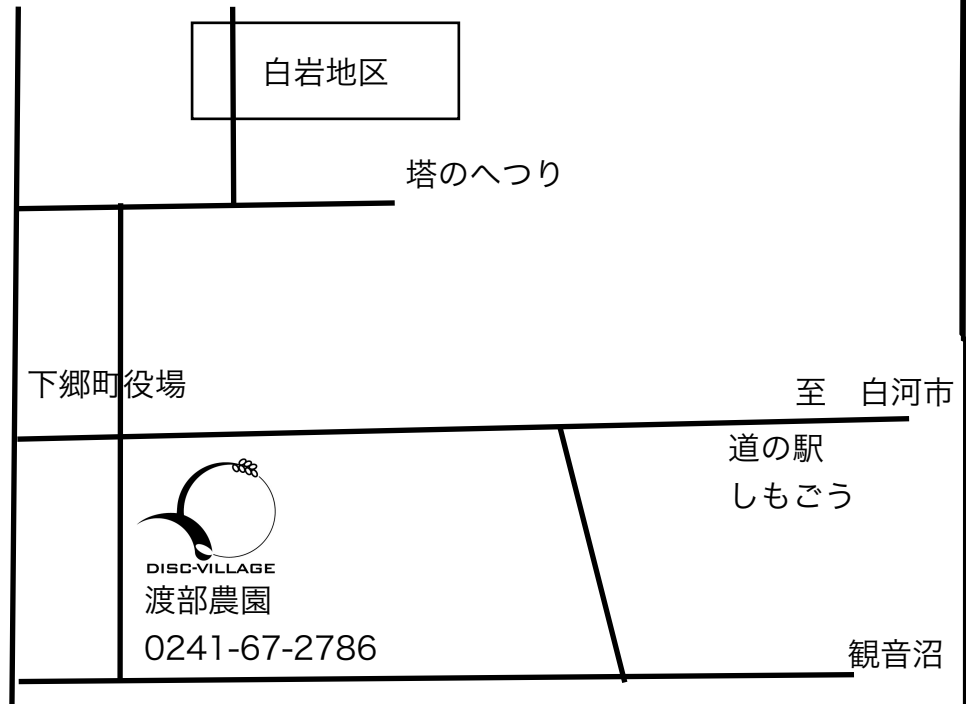
下郷町へお越しください！ part6

今回ご紹介するのは白岩地区です。白岩地区には虫送りなど伝統行事がたくさんあり、100万年ウォークというウォーキングイベントの中心地です。私は100万年ウォークの立ち上げ時にコーディネーターとして関わらせていただきましたが、歴史と文化の下郷町を代表するくらいの地区であると初めて知りました。100万年ウォークの詳しい内容は下郷町商工会のホームページをごらんください。たくさんの笑顔を見ることができます。

下郷町商工会ホームページ <http://shimogo-sk.or.jp>

愛する下郷町略図～白岩地区編～

至 会津若松市



至 南会津町